

子育て支援対象拡大

大船渡、陸前高田の両市を中心に活動する子育て支援ボランティア団体、こそだてシッ
プ(伊藤怜子代表)は、1歳半までだった受け入れ対象を、本年度から未就学児まで拡大した。被災地で子育てに追われる母親の環境改善を図る。母親の交流を推進することにも、子どもたちに癒やしの機会を提供する。

大船渡・陸前高田 ボランティア団体

8日は大船渡市盛町のカメラリアホールで、対象拡大後初めての「サロン」を開催。両市の親子45組が参加した。リズム体操や絵本の読み聞かせなどもあり、参加者は「ママ友達」同士で会話を楽しみながら、リラククスした時間を過ごした。

大船渡市大船渡町の主婦佐藤和歌子さん(35)は、長男涉ちゃん(1)と長女真帆ちゃん(3)と参加。「親子で

一緒に体を動かしたり、安全に遊べる場所はまだまだ少ない。上の子も参加できる機会があるのはありがたい」と感謝する。同団体は2011年10月から、伊藤代表ら助産師有志を中心に活動をスタート。月数回、子育て相談や親子で参加できる「サロン」などを開催してきた。昨年5月からは仮設住宅や個人宅の巡回訪問も展開している。

就学前まで受け入れ 被災地の親子、交流推進



本年度初めて開かれたこそだてシッ
プ主催の「ママサロン」。未就学児まで対象を拡大し、被災地の子育て環境充実を図る

これまで対象は1歳半までだったが、参加者から▽きょうだいの参加希望者が多い▽震災で親子で交流できる

場所が減少したので機会づくりが必要など声を受け、対象を未就学児まで広げた。

来月7日にはお絵かきイベントやベビードンスなどの親子イベントを予定。伊藤代表は「親子で音楽や芸術などに触れる機会を提供

したい」と先を見据え問い合わせは伊藤代表(0192・27・9839)へ。